９　外国語

学校番号	T2101

平成３１年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語会話	2	１～４	Sailing English Conversation

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「英語会話」の授業では、簡単な単語を使って、英語で会話ができるようになることを目的とします。単語の発音練習やリスニングの練習も行います。

ペアワークやグループワーク等､他の生徒とコミュニケーションを取りながら英語で会話をするような言語活動を多く行う予定です。授業には積極的に参加しましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１～４学年】履修科目：「英語会話」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
日常的な事柄について基本的な英単語を使い描写することができる。天候、時間など決まった日常の質疑応答をすることができる。	英語会話 インタビューテスト スピーキングテスト 暗誦テスト	基本的な語句や表現を活用して簡単な英文を書くことができる。	英語会話 単語テスト 定期考査	ゆっくり、はっきりと発音される英文を聞き取った後リピートすることができる。また身のまわりのことについて聞き取ることができる	英語会話 リスニングテスト 定期考査	基本的で具体的な単語や句の意味を理解することができる。 知っている単語を書かれている中から見つけることができる。	英語会話 リーディングテスト 暗誦テスト 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち､積極的に言語活動を行い､コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 1-1 (5 時間)	自己紹介	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	英語で自己紹介をする。 他の人の自己紹介を聞く（リスニング）。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。 自己紹介を話したり聞いたりする。 会話や CD を通じてリスニングの練習をする。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		教科書に出てくる人物についての説明を読み取る。	教科書の例文を読み、自分の自己紹介文を作る。 リスニング CD を聞いて、発音の確認をする。	人物についての説明を読んで、その内容を説明することができる。	ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		本単元では設定しない	自己紹介でよく使われる表現を学習する。	本単元では設定しない	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		英語での自己紹介の表現を学習し、自分でも話すことができる。 複数の人の前での挨拶･1 対 1 での挨拶の表現を学ぶ。	自己紹介の仕方（挨拶や自分の好きなことについて話す）を学ぶ	自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	スピーチテスト 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Unit 1-2 (5 時間)	他己紹介	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。 他の人の自己紹介の内容を正しく聞き取り、理解できる。	他の人の自己紹介を聞く。 その人について英語で説明する。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。 他の人の話を聞き取る。 会話や CD を通じてリスニングの練習をする。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		他の人の紹介をするために必要な表現を理解する。	教科書の例文を読む。 リスニング CD を聞いて、発音の確認をする。	人物についての説明を読んで、その内容を説明することができる。	ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。。
		「外国語理解の能力」			
		本単元では設定しない	教科書に出てくる人物がどんな人なのか読み取る。 CD を聞いて、その人物に当てはまる正しい選択肢を選ぶ。	本単元では設定しない	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		他の人の話す内容を聞き取ることができる。	ペアワークでの会話練習 CD を聞いての聞き取りの練習	他の人の話す内容を聞き取り、英語で説明することができる。	スピーチテスト ペアワーク

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (10 時間)	学校生活・予定を述べる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		学校生活をどのように過ごしているか、積極的に話すことができる。 週末の予定を話したり、相手を誘ったりする。	ワークシートを利用して、自分の学校生活や週末の予定を述べる。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。 会話や CD を通じてリスニングの練習をする。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。。
		「外国語表現の能力」			
		学校行事名や、教科をそれぞれ英語で表現したり、説明する。 週末の予定を英語で話すことができる。	学校生活において必要な情報を得たり、会話をする表現を学習する。 自分の予定を述べたり相手の予定について質問したり、誘ったりする表現を学習する。	ワークシートやプリントの完成度 ペアワークにおいて、会話を続ける努力をしている。	ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		相手が伝えようとしていることを理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する	ペアワークの相手や、CD の内容を聞き取り、説明することができる。	スピーチテスト ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		海外の高校生活の違いや共通点などを考える。 学校生活・予定を述べる表現を身に付けている。	学校行事や教科名の英語での表現方法を学ぶ。 予定を英語で話すことができる。	例示する表現の使い方を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2 (10 時間)	週末の過ごし方を題材にして、どのように過ごしたか、過去形での表現を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		動詞の過去形を使って週末の過ごし方、感想、自分の行動について述べることができる。	ワークシートを利用して、自分の考えを述べる。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。 他の人の話を聞き取ることができる。 会話や CD を通じてリスニングの練習をする。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		週末の出来事について、話したり相手の話すことを聞き取ることができる。	ワークシートを利用して、週末の過ごし方についてペアやグループで会話をする。	英語での会話を続ける努力をしている。 相手の言うことを聞き取ることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		本単元では設定しない	教科書の例文を読んだり、プリントやワークシートで練習をする	本単元では設定しない	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		余暇の過ごし方について、世界の各国の特徴を読み取り、自分の場合と比較する。	・教科書に出てくるグラフを見たり、CD の音声を聞いて、その内容を理解する。	世界の人々の生活や他の人の週末の過ごし方など、本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景について理解している。	定期考査のリスニングテストにおいて、文化的背景をもとに、正しく聞き取れているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson3 （10 時間）	飛行機の機内を想定して、自分の要求を依頼する方法を学習する。 また、機内アナウンスを聞いて、必要な情報を聞き取る練習をする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分の要求や依頼を述べることができる。 禁止の表現を学ぶ。	飛行機内の場面を想定し、客室乗務員との会話練習をする。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。 会話や CD を通じてリスニングの練習をする。	ペアでの言語活動を観察する ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分の要求や依頼を英語で述べたり書いたりすることができる。	教科書の例文を読んだり、プリントやワークシートで練習をする。	（本単元では設定しない）	
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では設定しない）	教科書の例文を読み取る。 CD を用いて、英語での機内アナウンスの聞き取り練習をする。	英語を聞いて、正確に理解することができる。	リスニングテストや、定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		英語による依頼や禁止の表現を学ぶ。	依頼表現 禁止の表現 本文中で用いられている意味や用法を確認する。	正しい語順で話したり、正しいスペルで書くことができる。	定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson4 （10 時間）	電話が発明されてから現代に至るまでの発展と普及を題材に、電話での英語の表現を学習する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		普段の会話と電話での会話との表現の違いを学ぶ。	ワークシートを利用し、キーワードをもとに各写真を示しながら歴史について簡単な英語で説明する。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話し、積極的に取り組んでいる。	ペアでの言語活動を観察する ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句や表現を用いて、英語で電話での応答表現を述べたり書いたりすることができる。	ペア・ワークの相手や教員と電話での会話を想定し、練習する。	電話での応答表現、誘う表現を身に付けている。	ペアでの言語活動を観察する ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		電話での短い会話を聞いて、内容を聞き取る。 電話で伝言を残したり、伝言を受けたりする。	CD を用いて、英語での電話のやりとりを練習する。 ペア・ワークにおいて互いに電話での会話を想定して会話練習をする。	相手の言いたいことを理解し、会話を続けることができる。	ペアでの言語活動を観察する ワークシートの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		英語での電話の応答表現や、誘う表現を学習する。	教科書の例文を読んだり、音声 CD で聞き取りの練習をする。 電話での応答表現	この単元で学んだ表現を適切に理解している。 相手が伝えようとしていることを理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。